

日本レスリング協会 女子強化委員会

【強化委員長】栄和人(中京女大教)



1960年6月19日、鹿児島県生まれ。48歳。鹿児島・鹿児島商工高(現樟南高)～日体大卒。高校時代の1978年に高校三冠王を達成。日体大へ進み、79年に世界ジュニア選手権フリー62kg級4位、80年全日本大学選手権優勝と力をつけ、83年に全日本選手権で初優勝。世界選手権でも4位に入賞し、アジア選手権でも優勝した。

84年ロサンゼルス五輪は逃したが、87年世界選手権3位のあと、88年ソウル五輪へ出場。全日本選手権は計6度優勝。92年バルセロナ五輪を逃し、94年ごろから女子のコーチに専念。04年アテネ五輪へはコーチとして、08年北京五輪は監督として参加した。

【強化委員】吉田栄勝(アイシン・エイダブリュ)



1952年3月22日、青森県生まれ。57歳。青森・八戸電波工高～専大卒。高校時代の1969年にインターハイと国体で優勝。専大へ進み、72年に全日本選手権4位、全日本学生選手権3位、国体3位などの成績を残し、翌73年に全日本選手権初優勝し、世界選手権に出場(3回戦敗退)。その後、76年モントリオール五輪を目指したが、五輪2次選考会で敗れた。

同年に地元・三重で行われた国体で現役引退。86年に一志ジュニア教室を開き、選手育成へ。長女・沙保里を育て、五輪V2を達成させた。09年4月から全日本チーム強化委員へ。

【強化委員】木名瀬重夫(日本協会専任コーチ)



1961年5月5日、茨城県生まれ。47歳。茨城・土浦日大高～日大卒。高校時代にインターハイ団体3位、国体優勝など。日大へ進み、83年全日本学生選手権4位などの成績を残す。85年の女子レスリング・スタート時に協会からコーチを任命され、以後、女子レスリングとかかわってきた日本の女子コーチ第1号。

87年の第1界世界女子選手権を皮切りに、数多くの海外遠征に参加。女子の五輪種目入りが決まったあとの2002年から協会の専任コーチとして活動し、04年アテネ五輪、08年北京五輪ともコーチとして参加。

【強化委員】藤川健治(自衛隊)



1963年1月19日、徳島県生まれ、46歳。徳島・辻高～東洋大卒。高校時代は全国大会無冠。自衛隊へ進み、フリースタイル52kg級で活躍したほか、83年に世界エスポール(19～20歳)選手権グレコ48kg級へ出場(二回戦敗退)。86年クランスマン国際大会での優勝もあるが、全日本王者とは縁のないまま選手生活を終わった。

93年の東四国国体で香川県チーム監督を務めた後、自衛隊体育学校スカウト、コーチを歴任。坂本日登美選手をスカウトした2004年から女子のコーチへ。08年北京五輪はNHKテレビ中継の解説を務めた。

【強化委員】成富利弘(東京・安部学院高教)



1964年3月11日、佐賀県生まれ。45歳。鹿児島商工高(現樟南高)～日大卒。高校時代は全国高校選抜大会で団体2位、個人3位。日大では東日本学生新人戦2位、国体2位などの成績を残す。

東京・安部学院高(女子高)の教員となり、90年に同校にレスリング部を創設。一方で全日本女子連盟のコーチとして、主にジュニア世代の強化にあたり、数多くの海外遠征に監督やコーチとして同行した。98年にはシニアの世界選手権にコーチとして参加。

【強化委員】吉村祥子(エステティックTBC)



神奈川県生まれ。東京・成城学園高～成城大卒。代々木クラブでレスリングに接し、89年に44kg級で日本の女子選手初めの世界一に輝いた。以後、世界選手権には5度優勝(他に銀1、銅3)。

99年も世界選手権へ出場し、10度出場の表彰を受けた。2004年アテネ五輪を逃して現役を引退し、主にジュニア世代の指導にあたっていた。今年3月、国際レスリング連盟の殿堂入りを果たした。